令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	局名	環境局
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	課（室）名	環境保全推進課
施策	環境保全活動の推進	電話番号	087-839-2393
基本事業	環境保全意識の啓発	事業実施主体	市
事務事業	環境保全推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	国が主唱する６月の環境月間に併せて環境展を実施し、環境問題を考える契機を提供するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施により、環境活動団体の支援やより一層の市民の環境意識の向上を図る。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。
2年度概要	環境展を開催するとともに、環境学習の実施や環境活動団体の支援を行うことにより、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。

重点取組事業		市長マニフェスト	2-⑥	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	環境活動団体や関係機関と協力して環境学習講座を実施するとともに、講座の開催等について市の広報誌やホームページに掲載し、参加者の増加に努めることにより、市民の環境意識の底上げを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 環境学習講座実施回数	回	68	57	58	77	77
②						

【事業の成果】

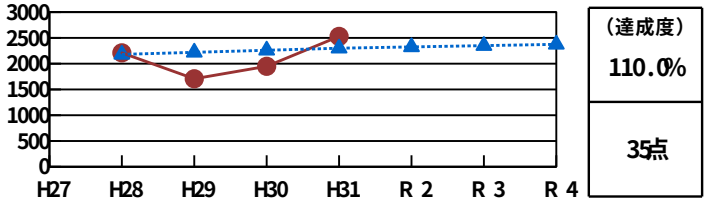
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
環境学習講座参加者数	人	目標値	2,220	2,260	2,300	2,325	2,325
		実績値	1,707	1,949	2,529		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

参加者数は増加しており目標を達成した。市民の環境意識の向上が図られている。

（目標達成度）

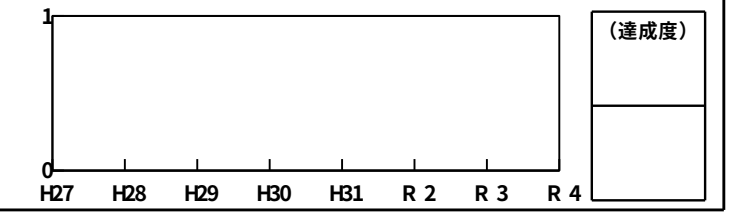


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	40,773	49,068	37,946	29,596
（事業費）	[千円]	5,873	14,283	6,076	3,797
（職員人件費）	[千円]	34,900	34,785	31,870	25,799

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

環境問題に対する市民意識の高まりは依然高く、本市の環境の現状について市民に知らせる環境白書の発行や、環境展の開催、環境学習の実施は、市民にとって環境問題を考えるきっかけ作りとなっており有意義であり、継続が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

環境問題に対する市民意識の高まりに対応するとともに、より一層の意識啓発を行う必要があることから、継続する必要がある。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	局名	環境局
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	課（室）名	南部クリーンセンター
施策	環境保全活動の推進	電話番号	087-890-2190
基本事業	環境保全意識の啓発	事業実施主体	市
事務事業	南部クリーンセンター環境学習事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	南部クリーンセンターの施設を活用して、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供する。「エコホタル」の展示ギャラリーでは、環境パネル展や、環境に関する図書の閲覧、またパソコンによる環境クイズなどを利用して環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクルを体験してもらい、参加者の環境意識の向上に寄与する。
2年度概要	利用者数（見学者・学習室利用者等）　年３，３００人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業　年２０回程度 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発ＤＶＤ視聴

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ問題を始めとする環境学習の場を提供して、広く市民の環境意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① エコホタル自主企画講座回数（見学会等を含む。）	回	12	15	19	20	20
②						

【事業の成果】

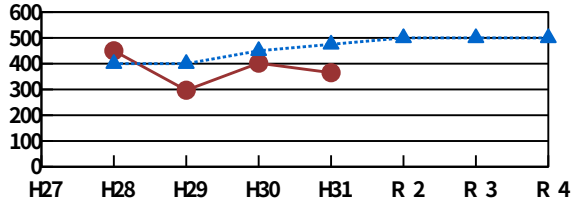
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
エコホタル自主企画講座参加者数（見学会等を含む。）	人	目標値	400	450	475	500	500
		実績値	297	402	365		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

親子施設見学会を昨年度の８回から１０回に、また、初めて祝日に事業も開催したが、参加者が低調であり、また、新型コロナウイルス感染症の影響で事業等の中止も重なり、目標を達成できなかった。

（目標達成度）



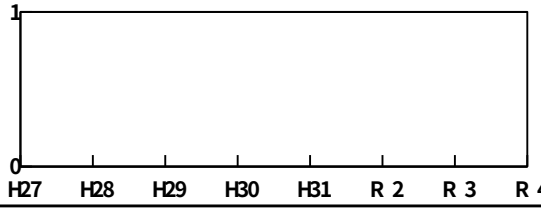
（達成度）
76.8%
26点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	7,919	7,905	7,889	15,487
(事業費)	[千円]	332	343	301	311
(職員人件費)	[千円]	7,587	7,562	7,588	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

親子施設見学の回数を８回から１０回に増やし、また、初めて祝日に事業を開催し、工場用内見学を行うなど、新たな試みもあったが、実施内容のマンネリ化や新型コロナウイルス感染症の影響も伴い、事業や見学も中止となったものもあり、昨年度に比べや施設利用者も低調であった。今後、更に新たな魅力ある事業や広報についての検討が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

ＮＰＯ法人、管理運営事業者とも協働する中で、魅力ある施設見学会や、新たな自主企画事業の開催などを通じて、環境保全意識の啓発を推進する。